

令和7年度 第三回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年7月30日(水) 10時から12時まで
- 2 開催場所 芳川小学校 5年1組教室他
- 3 出席委員 鈴木幸彦、犬居和賀代、佐藤祐輔、海老名俊樹、鈴木麻里、前島杏里
- 4 欠席委員 林容子
- 5 学 校 結城知則(校長)、大石智香子(教頭)、鈴木由香(CS担当教員)、学校職員27名  
内田由佳(CSディレクター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前島杏里委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

- 9 グループ協議事項・・・以下の4項目についてを協議する

- (1) 芳川っ子の良いところや課題について
- (2) 主体性を育てるために、地域、学校ができることについて
- (3) 支援活動を広げるにはどうすればよいかについて
- (4) その他

- 10 会議記録

司会の大石から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- 11 グループ熟議

(Aグループ) 佐藤祐輔会長

【主体性を育てるために、地域、学校ができることについて】

①子供が全力でパフォーマンスができる環境をつくること。

・自分で考え行動できる場を増やすこと。

・何でも良い、何をしても良いと言うわけではなく、土台にはルールやモラル、秩序等が不可欠である。

②助けを求められる環境を作ること。

・考え行動する中で、困ったり悩んだりすることは必ずある。その時に教員や地域(ほうがわクスノキ応援団等)、子供同士など、他者に頼れることが、心の支えとなる。

③他者のかかわり方について。

・コーチングを意識し、子供の姿をよく見取り、子供の話を聴き、そのうえで必要な手立てを打ったり、言葉かけをする。

(Bグループ) 海老名俊樹 副会長

【芳川っ子の良いところや課題について】

- ・30年以上も前から、集団登校で上級生が下級生の世話をしている。
- ・登下校時の車による送迎に伴う諸問題。旗振りの方々の多大な助力には感謝。

【主体性を育てるために、地域、学校ができることについて】

- ・小学生から多くを身に付けることは難しいのでは。
- ・リーダー性を発揮できる者、追随する者など、役割が分かれている状態でも、後者の価値も認めることは重要である。
- ・初等教育を終えた後の人生も視野に入れ、長いスパンでの主体性の習得を見据えて指導するのも大事なのでは。

(Cグループ) 鈴木幸彦 委員

【芳川っ子の良いところや課題について】

- ・挨拶する子供たちが増え、その時に個々の状況がよく伺える。
- ・世相として、失敗自体も許されないことが多くなった。
- ・子供たちは心情を吐き出す所がなく、ストレスを抱えているようにも見える。
- ・学校では、ゆっくり話を聴いてあげられる時間があまりない。地域の方々に支えていただいていることに感謝。
- ・登校中に子供たちから相談を受けることもあるが、とても素直である。
- ・様々な大人と関わり、地域で育てていきたい。

(Dグループ) 犬居和賀代 委員

【芳川っ子の良いところや課題について】

- ・良いところは、人懐っこく、挨拶ができる子が多い。素朴、素直。
- ・課題としては、公園での悪さが見られる。木登り、枝を折るなど。去年より改善傾向にある。

【主体性を育てるために、地域、学校ができることについて】

- ・地域の防災訓練等に参加してほしい。
- ・30代の人々が、子供たちを巻き込んで、自己決定のスキルを身に付けることが、主体性へとつながる。

【支援活動を広げるにはどうすればよいかについて】

- ・学校と地域がお互いに声を掛け合い、情報共有を心掛ける。

(Eグループ) 鈴木麻里 委員

【芳川っ子の良いところや課題について】

- ・良いところは、素直、人懐っこい、元気、挨拶をする。
- ・課題としては、流されやすい、公共の場でも騒がしい。
- ・指示待ちの状態。

【どんな子供を育てたいのか、どんな地域にしたいのか】

- ・自分で考え、判断できる子、正しいことが自分からできる子であることは、勉強にも友達作りにも大切。
- ・家庭の協力も必要だが、失敗しても手を差し伸べず育ててほしい。

【主体性を育てるために、地域、学校ができることについて】

- ・学校について保護者や地域がもっとよく知る機会を増やす。
- ・授業のフォローなどのボランティアを通じて、学校の現状が理解できる。

【支援活動を広げるにはどうすればよいかについて】

- ・地域の人材をあまり活用できていない。学校側が認知していない。
- ・どんな人材があるのか知りたい。(例：音楽会の支援、プールの見守り等)
- ・学校で得意分野や、どういう支援ができるか、といったアンケートを取るのはいかがでしょうか。

(Fグループ) 前島杏里 委員

【芳川っ子の良いところや課題について】

- ・良いところは、人懐っこい、教師との距離が近い、歌が上手。
- ・課題としては、向上心に少し欠ける、話を聞けない。

【主体性を育てるために、地域、学校ができることについて】

- ・成功体験。うまくいくと目が輝く。例として、野菜の栽培や家庭科のボランティアのサポート。

【支援活動を広げるにはどうすればよいかについて】

- ・秋に「ほうがわクスノキ応援団」主催のイベントを企画するのはどうか。(くつとばし、紙飛行機、ごみ箱フリースロー、ぞうきんがけ競争など)

## 12 連絡

・令和7年度第4回の協議会は、2025年10月20日(月)午後1時30分からCSルームで開催する旨の報告があった。

・次回議長は、鈴木麻里委員が務めると申し出、全員異議なく承認した。